

埼玉医科大学病院ニュース

第 78 号

—看護特集—



ゆい

患者さんと医療者を結ぶ情報誌

CONTENTS

ページ 2

看護部紹介

ご挨拶 看護部長 原嶋弥生

ページ 3

看護師の業務紹介

ページ 5

呼吸ケア看護外来

ページ 6

看護師が行うリンパ浮腫ケア外来

ページ 8

DMAT- 災害支援で活躍する看護師たち

ページ 9

看護師の力強いパートナー

ページ 10

アスリート通信

埼玉医科大学グループアスリートクラブ

ページ 12

基本理念

外来受診のご案内

新型コロナウイルス感染症に対する対応

編集後記

外来駐車場のご案内



合言葉は
あなたの幸せが
私たちの幸せです

Your
HAPPINESS
Is Our
HAPPINESS

看護部紹介

ご挨拶



看護部長

原嶋 弥生

当院では、患者さん、ご家族から多くの「ご意見」「ありがとうメッセージ」を頂いております。「ご意見」については、患者さんの立場になって、患者さんの気持ちを理解し、患者さんにとって何をすべきかを振り返る機会になります。「ありがとうメッセージ」は、看護師達の良い評価として、もっともっと患者さんに寄り添った看護をしたい気持ちとなり、個々のモチベーション向上が看護の質向上に繋がっていると考えております。

当院で働く看護師は、患者さんとその家族との出会いに感謝し、看護師だから気づくこと、できることを実践しながら、皆様が安心して満足していただけるよう実践してまいります。今後も、患者さん、ご家族の思いを尊重した看護の実践を目指してまいりますので宜しくお願い申し上げます。

～ Your HAPPINESS Is Our HAPPINESS ～
あなたの幸せが私たちの幸せです。

この度は、「埼玉医科大学病院病院ユース YUI」を手にとって頂きありがとうございます。

埼玉医科大学病院は、特定機能病院として高度な医療を提供するとともに、地域の中核病院として地域住民の医療と福祉に貢献しています。さらに、教育機関として、医師や看護師をはじめとする医療人の育成にも大きな役割を担っています。

今回は、看護部をご紹介致します。

看護部は、「**看護の心と手で病める人を支えます**」を理念に掲げ、日々の看護に向き合っています。患者さんに安心と安楽を提供するために高い志と技術を養う教育を継続しながら、常に患者さんとその家族に寄り添い、信頼される看護が提供できるよう努めております。

新人教育では技術のみならず、看護の喜びが感じられるように、ゆっくり成長を支援しております。また、継続教育では、キャリア開発クリニカルラダーに沿って、ひとりひとりのレベルに応じた教育支援をしております。さらに、スペシャリストの育成にも力を入れており、専門的な知識と技術をもって、チーム医療の推進と看護の質向上に努めております。



研修室で行う集合研修の様子



演習の様子

看護師の業務紹介

外来部門

多くの診療科がある中で、各科に看護師を配置し医師やメディカルスタッフと共に安心して安全な看護が提供できるように努めています。外来での看護師の仕事を一部紹介します。

外来看護師の主な役割は、通院患者さんの診察や検査がスムーズに進むようにサポートすることです。

<診療介助>

予約状況の確認や診察室・医療機器の準備、また診察時に患者さんが安心して診察ができるように介助を行います。患者さんがわからないことなどがあれば、すぐに対応致します。



<採血などの医療処置、検査のサポート>

患者さんの血圧や体温などの測定や採血・注射・点滴といった処置、外来手術の介助も行います。診察前の問診や患者さんを検査等に誘導を行うこともあります。

<患者さんへの説明や生活指導>

患者さんがご自宅で安心して療養できるように、使用する薬剤の使い方の説明や、生活指導を行います。

当院に診察におみえになる多くの外来患者さんは、近くの病院で「埼玉医科大学病院で検査してもらってください。」と言われ、心配な気持ちを抱きながら来院されます。外来では、体の不調の原因が何かを調べるために、必要な検査をたくさん行います。そして検査の結果によっては、入院や手術が必要になることや、痛みや苦痛を伴う検査を行うこともあり、患者さんは不安でいっぱいになると思います。外来看護師は、その不安を少しでも取り除けるように患者さんにわかりやすく説明を致します。そして、医師に聞きにくいことや言いにくいことにも耳を傾け対応致します。患者さんの今の生活の中で困っていることが少しでもあれば、いつでも声をかけてください。



病棟部門

一日の業務の流れについて、ご紹介します。

時間	患者さん	看護師
6:00	起床	巡回・採血
8:00	朝食	セッティング・食事介助
8:30		引継ぎ・日中の点滴の準備
9:00		巡回・点滴投与 清拭やシャワー浴のお手伝い 内視鏡室や手術室までの誘導 処置の介助

<点滴の準備>

今日一日に使う点滴薬の準備をします。

間違えないように、2人の看護師でチェックをしています

<清拭>

清拭を行いながらする患者さんとの会話は、それまで知らなかった患者さんの思いやご家族のことが聞ける貴重な時間です。

12:00	昼食	セッティング・食事介助
13:00		内視鏡室や手術室までの誘導処置の介助
14:00	入院	予定入院の患者さんの対応

<食事の時間>

食べやすいようにセッティングしたり、介助が必要な方には、食事介助をします。

<検査室・手術室への誘導>

誘導時は、患者さんが気分が悪くならないように、廊下を曲がる時や段差がある時は、患者さんにお声をかけながら移動します。

<処置の介助>

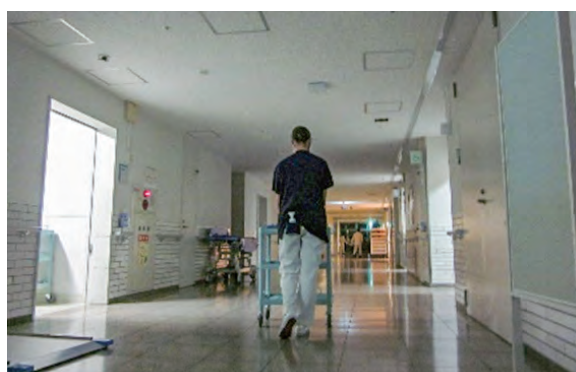
処置の時は、患者さんの脈拍や血圧に変化がないかチェックしながら、安心して処置が行えるようにお声をかけています。

16:30		引継ぎ・巡回
18:00	夕食	セッティング・食事介助
21:00	消灯	巡回

<夜勤帯>

消灯後も、患者さんが安心してお休みいただけるよう、定期的に病室をまわっています。

私達病棟看護師は、24時間365日、患者さんが安心して療養できるように、多職種と連携を取りながら、患者さんの入院生活を支えています。病棟看護師は、患者さんが何を求めているかを常に考え、患者さんに寄り添う看護を今後も実践していきたいと思います。



専門看護師 呼吸ケア看護外来

～息切れや息苦しさを
感じている方へ～

慢性呼吸器疾患看護認定看護師
北川 美奈



吸入指導



在宅酸素療法指導

「呼吸ケア看護外来」を紹介致します。

息切れや息苦しさを感じている方はいらっしゃいませんか。息切れや息苦しさを抱えて生活している方たちは、生きていく根底である「呼吸」が慢性的にさまたげられることで、様々な問題が生じます。病気と折り合いをつけて、その人らしく生きていくために、患者さんや家族の方が自分自身で病気を受け止め、自分らしく行動がとれるようになることが大切です。

息切れや息苦しさが出てくる主な病気に、慢性閉塞性肺疾患（COPD）、気管支喘息、間質性肺炎、肺結核後遺症などがあります。これらの慢性呼吸器疾患は今後も増加が予測されています。

症状の息切れや息苦しさを軽減するために、酸素を吸入しますが、ただ酸素を吸入しているだけでは、体力や呼吸をするための筋力が落ちてしまいます。また、酸素を吸入していても息苦しくなるから動かない、動けないでは、どんどん体力、筋力が共に落ちてしまい、自分らしく生活できなくなってしまいます。このような息苦しさを感じている患者さんや家族の方たちが、自分らしく生活できるよう、呼吸法や運動法、栄養面、自己管理の指導やアドバイスをするのが、慢性呼吸器疾患看護認定看護師です。

慢性呼吸器疾患看護認定看護師とは、日本看護協会の定める認定教育研修を受講し、慢性呼吸器疾患についての専門的な病態・治療・心理の知識や熟練した技術を持ち看護を提供する看護師のことです。

慢性呼吸器疾患看護認定看護師は、呼吸器の病気をお持ちの患者さんの増悪期に限らず、安定期～終末期にかけての看護はもちろんのこと、退院後の生活支援など患者さんや家族が不安に思うこと、困っていることなどの相談にも応じます。

今後も、呼吸器の病気をお持ちの患者さんや家族がより自分らしく生活していけるよう活動してまいります。

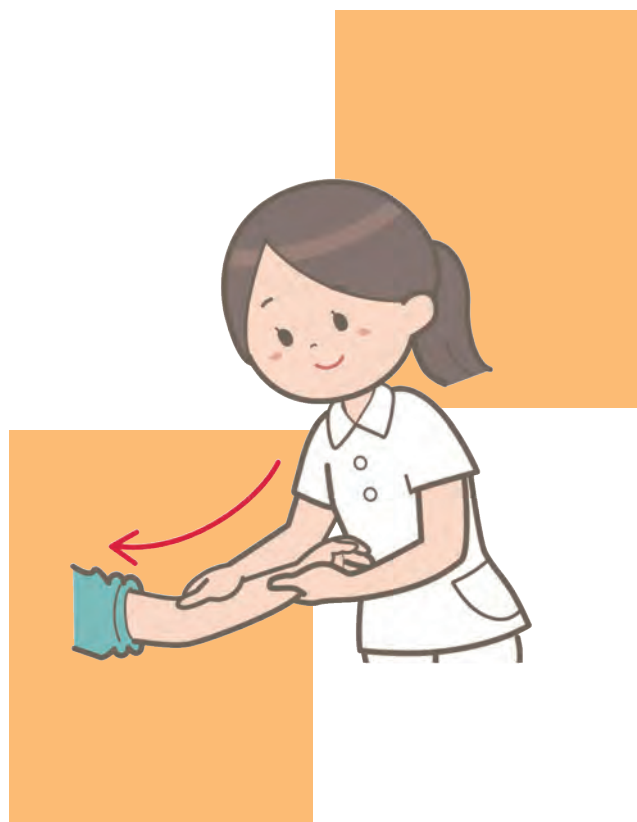
埼玉医大呼吸器内科外来通院中の患者さん、家族に限らず、ご相談などがありましたらお気軽にご連絡ください。

連絡先：呼吸器内科外来

電話 049-276-1192

看護師が行う リンパ浮腫 ケア外来

医療リンパドレナージ
上級セラピスト・リンパ浮腫療法士
森内 路恵



埼玉医科大学病院形成外科では、リンパ浮腫の診療を行っています。リンパ浮腫とは、腕や脚が浮腫む病気です。がんの手術後に発症することが多い病気ですが、産まれつきの場合もあります。今回は「医療リンパドレナージ上級セラピスト」「リンパ浮腫療法士」の資格を取得した看護師が、リンパ浮腫の保存的治療を行う「リンパ浮腫ケア外来」について紹介します。

患者さんは、医師の診察を受けてから、リンパ浮腫ケア外来の予約を取ります。リンパ浮腫の保存的治療は、「複合的治療」と言い、「スキンケア」「用手的リンパドレナージ」「圧迫療法」「圧迫下での運動療法」「日常生活指導」などを、患者さんの状態により組み合わせで行う治療です。中でも圧迫療法は重要で、下肢リンパ浮腫では弾性ストッキング、上肢リンパ浮腫では弾性スリーブ・グローブを患者さんの浮腫の状態に合わせて選択します。弾性着衣は正しく着用することが重要なため、着脱の方法や注意事項などの指導を行います。看護師による用手的リンパドレナージは、40分～90分程の時間をかけて、直接肌に触れてリンパドレナージを行います。患者さんからは、脚が軽くなる・皮膚がやわらかくなる・弾性ストッキングが履きやすくなるなどのご意見を頂いています。

現在、リンパ浮腫ケア外来には年間述べ200名の患者さんが来院しています。完全予約制で行っており、予約がとりにくい状況があります。近隣のリンパ浮腫の複合的治療を行う治療院とも連携して患者さんの治療に当たっています。

リンパ浮腫で相談などありましたら、形成外科外来にご連絡ください。



連絡先：形成外科外来

電話：049-276-1288

リンパケア

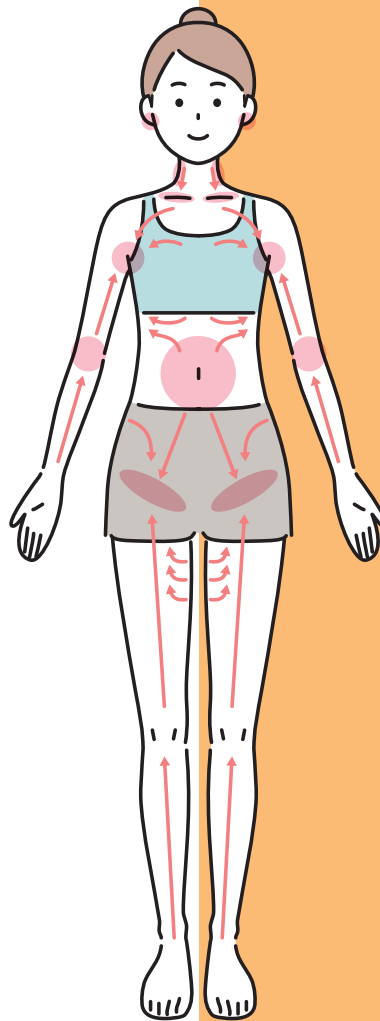


リンパ浮腫患者への
リンパドレナージ



リンパ浮腫患者への
弾性包帯による圧迫療法

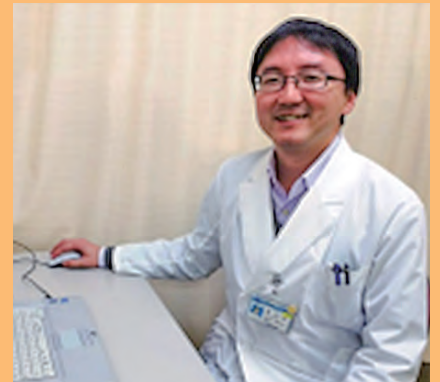
外科系看護師が行う
専門外来



フットケア



外科系フットケア担当看護師



爪矯正外来担当医師

ワゴン販売サービスのお知らせ

10:00~12:00

※各病棟に到着しましたら、アナウンス致します。
※お支払いは現金のみとなります。

各病棟デイルーム
にて販売しております。

販売スケジュール	月	火	水	木	金	土
本館、西館、東館	●		●		●	
南館		●		●		●

5号館売店(株)ウエルフェア

年中
無休

平日・土曜 8:30-18:00
日曜・祝日 11:00-17:00
TEL 049-276-1571



災害支援で活動する看護師達

～DMATの 活動から～

日本DMAT隊員

中村 大海（看護師）

日本は昔から地震が多い国と言われています。最近
は地震だけでなく、火災や風水害をはじめとした自然
災害、事故などの人的災害、新型コロナのような感染
症など、様々な災害が起こる災害大国です。このよう
な災害が発生したときに問題となるのが、医療環境が
整っていないことによる「災害関連死」です。この問
題に対応するため、災害発生時に迅速に医療環境を整
えることを目的とした医療チームがあります。このチ
ームを **DMAT (Disaster Medical Assistance Team)**
と呼んでいます。メンバーは医師、看護師、業務調整
員の3職種で、災害時に地域に必要な医療を支援しま
す。看護師は診療補助や被災者・負傷者の身体および
精神ケア等を行いながら、メンバーの体調管理を行う
ことを役割としています。DMAT の主な活動は医療
ニーズの把握、病院支援、医療搬送支援です。医療ニ
ーズの把握は、DMAT が現地の被害状況や被災者の健康
状態を確認し、必要があれば診療を行います。病院支
援は現地の病院の機能を維持するために診療のお手伝
いをします。医療搬送支援は被災地では治療が難しい
ような被災者を、治療可能な場所まで搬送します。こ

れによって「災害関連死」が起こらないように活動しています。

令和6年1月1日に震度7の揺れを観測した能登半島地震は、被災地に甚大な被害をもたらしました。全国各地からDMAT隊が集まり、当院DMAT隊（医師1名、看護師3名、業務調整員2名）も活動を行いました。震源地に近い珠洲市や輪島市はたくさんの建物が倒壊し、たくさんの避難所が作られました。また、上下水道が被害を受けたために、水道やトイレが使用できず、さらに真冬の寒さが加わって、非常に過酷な状況が続いていました。被災地でたくさんの施設を回り、健康状態に問題がある人がいないか確認を行いました。また、発災後より不眠不休で働きつづけている市役所職員の健康状態の確認も行いましたが、たくさんの人が体調不良でも地域の復興のために懸命に働いているのが印象的でした。

埼玉医科大学病院は地域に根差した病院です。災害が起きたときを想定して、地域と連携した訓練も実施しています。毎年数多くの訓練を行い、毛呂山町とその周辺の地域の安全を維持できるように今後も活動をしてまいります。



看護助手

看護師の力強い パートナー

西館 5 階病棟 看護助手

篠崎 陽菜

私が看護助手の仕事に就こうと思ったのは、就職先を決める時でした。埼玉医科大学病院の看護助手という仕事を見つけ、聞いたことのない職業だったため看護師の叔母にどんな仕事なのか話を聞き、人の心や生活に親身に寄り添える、とても素敵な仕事だと感じたのがきっかけでした。

私は人と関わる事が好きで、就職するなら人のために何かをしてあげられる仕事、心の支えになれるような仕事に就きたいと考えていたので、看護助手は私のやりたいことにあっている、自分の長所である明るく、いつも笑顔というところが生かせると思い就職を決めました。

看護助手の仕事内容は、患者さんの検査誘導やシーツ交換、ベッドメイキングや採血等の提出、物品補充などがあります。更に、患者さんに聞かれたことや、依頼されたことを、看護師さんに簡潔に分かりやすく伝えるというようなコミュニケーションも大切な仕事だと私は思っています。

看護助手の仕事始めて、**やりがいを感じた時**は、「ありがとう」という言葉を頂いた時です。病棟の患者さ

人だけでなく、外来で困っている患者さんに声をかけて、お手伝いした時やエレベーターから降りる時、先に譲るといったほんとは些細なことでも「ありがとう」と言って頂くことがあります。これは患者さんに限らず看護師さんからも言って頂くことがあります。この一言が私はすごく嬉しくて仕事に対するモチベーションが上がり、頑張ろうというやる気が出てきます。

また、患者さんの笑顔を見た時にやりがいを感じます。中には入院するのが不安でいっぱいな人もいると思うのですが、患者さんが笑顔でお話ししてくれると、少しは気持ちが和やかになり、不安が軽くなれたかなと感じ、私もその笑顔を見ることで安心することが出来ます。こういった患者さんや看護師さんの言動が私の心の支えになっていて毎日頑張れています。

私でもたくさんの方に支えてもらいながら楽しく仕事をすることが出来ています。皆様にこの仕事について知ってもらい、たくさん看護助手が増えてくれればと願っています。



アスリート通信

埼玉医科大学グループ
アスリートクラブ

ニューイヤースタ伝 結果報告

全日本実業団対抗スタ伝
18位

埼玉医科大学アスリートクラブ
(<http://www.smu-athlete.jp>)

元日の1月1日に群馬県庁を発着点とする7区間全長100キロのコースを走る全日本実業団対抗スタ伝（ニューイヤースタ伝）に埼玉医科大学グループ男子スタ伝部が出場しました。群馬名物のからっ風が強く吹くなか、選手たちは一生懸命チームのために走り、結果は41チーム中18位と過去最高の順位でゴールすることが出来ました。

レースは、1区の川田選手は先頭集団で走っていたところに他チームの転倒に巻き込まれてしまいましたが、予選会でも見せた粘りで大きく離れることなく21位でタスキを渡しました。

2区は今年から距離が変更され20キロを超えるエース区間となり、各チームのエースが集うなか、内田選手は自分のペースを崩さず冷静に走り26位でタスキを渡しました。

3区は今季好調の中園選手。長身の体格から繰り出されるダイナミックなフォームで2つ順位を上げて24位で4区のタイタス選手にタスキを渡しました。

4区から風向きが変わり強い向かい風が吹いていましたが、タイタス選手が区間7位の快走で3人を抜きチームの流れを変える渾身の走りをしました。



ニューイヤースタ伝・集合写真

5 区の長山選手は向かい風と起伏の多い 5 区のコースで前の選手を懸命に追いかけて、22 位でタスキを渡しました。

6 区松井選手は積極的な走りで前を走 15 位グループに追いつき、溜めていた得意のラストスパートで一気に順位を 5 つ上げて 17 位でアンカーの木樽選手にタスキを渡しました。

7 区の木樽選手は集団の中ほどでレースを進めると集団は 15 位～ 21 位までの大集団となり、残り 400m での熾烈なスパート合戦の末、18 位でフィニッシュしました。この記録は過去最高順位の 20 位を上回りチーム新記録となりました。この度はたくさんのご支援ご声援をいただきありがとうございました。皆さまの応援を力に今後も競技と仕事の両立に努めていきます。何とぞよろしくお願いいたします。



1 区 (川田)



2 区 (内田)



3 区 (中園)



4 区 (タイタス)



5 区 (長山)



6 区 (松井)



ニューイヤー駅伝 24 埼玉医科大学グループ_フィニッシュ場面

【奥むさし駅伝】

2024 年 1 月 28 日に飯能市～東吾野駅を往復する奥むさし駅伝が今年も行われました。昨年 3 年ぶりに開催された際には他チームとの激戦を制し優勝しましたが 2 連覇がかかる今回は NY 駅伝に出走できなかった選手を中心にメンバーが構成され、2 区で先頭に立つとそのままトップを譲ることなく堂々の優勝を飾りました。また地元の方や職員の皆様からたくさんの応援をいただきました。応援いただき誠にありがとうございました。



奥むさし当日の様子



奥むさし駅伝集合写真

—基本理念— 当院は、すべての病める人に、満足度の高い医療を行うよう努めます。

病院の基本方針

1. すべての病める人々にまごころをもって臨みます。
2. 安心で質の高い医療を実践します。
3. まわりの医療機関と協力し合います。
4. 高い技能を持つ心豊かな人材を育成します。
5. より幸せとなる医療を求めた研究を推進します。

患者さんの権利

1. ひとりひとりが大切にされる権利
2. 安心して質の高い医療を受ける権利

3. ご自分の希望を述べる権利

4. 納得できるまで説明を聞く権利
5. 医療内容をご自分で決める権利
6. プライバシーが守られる権利

小児患者さんの権利

1. こどもが最善の治療を受けて生きる権利
2. こどもが暴力から守られる権利
3. こどもが能力を十分に伸ばせるような医療を受ける権利
4. こどもが自分の診療について自由に意見を述べる権利

外来受診のご案内

診察時間 月曜～土曜 9:00～17:00

受付時間 月曜～土曜 8:30～17:00（初診で予約の無い方 8:30～11:00）

※紹介状をお持ちの方は、事前に予約センターで電話予約をしたうえでご来院ください。

予約センター 049-276-1179（8:30～17:00 日曜祝日除く）

新型コロナウイルス感染症に対する対応

新型コロナウイルス感染症が「5類」に移行し、医療機関では高齢者など重症化リスクの高い人たちが集まるため、施設内において感染が拡がらないよう対策を続けていくことが求められています。

来院される際には今まで通り**手指衛生の実施**、院内では常に**マスク着用**をお願い致します。

最新の情報を元に、より良い感染対策を考え、患者さんに安心できる医療を提供できるようにこれからも取り組んでまいります。

～編集後記～

2月5日に雪が積もりました。埼玉県はなかなか大雪に出くわすこともなく、忘れた頃に雪が積もることが多いです。今回も「今年は降らないかなー」と思っていた矢先の出来事でした。

そして翌日には職員総出で雪かきを行いました。普段は職種が違い話す時間はわずかである同僚でも、このように1つの目的に対して多職種が協力することで、来院した患者さんに大きな影響を及ぼすことなく対処できました。医療において非常に重要なキーワード、まさに“チームワーク”の賜物でした。



◀白い看板が目印です

埼玉医科大学病院ニュース 第78号

発行日 令和6年4月1日
 発行責任者 病院長 篠塚 望
 編集発行 埼玉医科大学病院 病院広報戦略室
 TEL 049 (276) 1121 FAX 049 (294) 8222
www.saitama-med.ac.jp/hospital/index.html

